

# くまそう

vol. 21 24  
01.

winter season

Kumagaya  
General  
Hospital  
News Letter

## CONTENTS

新年のご挨拶  
入職医師紹介  
診療科紹介 麻酔科  
部署紹介 看護部  
新館3階(N3) 新館4階(N4)  
リハ科 ワンポイント講座  
栄養科 免疫Up食事療法  
まちの医療機関  
くまそうTOPICS



## 2024年 新年のご挨拶



病院長 今野 慎

新年あけましておめでとうございます。皆様健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて病院にとっての昨年1年間を振り返ってみますと、まずコロナ禍の問題が挙げられます。3年目に突入し、当初の手探りの状態から、職員全体がスピーディに、且つ的確に対応する力が着実についてきた1年間であったと思います。

まだコロナ収束にはほど遠い時期でしたが4月には日本医療評価機構病院機能評価を受審し、無事認定がなされました。この取り組みを通じて、患者中心の良質な医療を提供するために、常に改善改革をしていく意識を全職員が共有できたことは大きな収穫でした。また10月には十数年ぶりの病院祭、くまそうフェスを開催することができました。地域医療支援病院として必須の地域住民への情報提供、健康教育だけでなく、多くのイベントを通じて地域に愛され、信頼される魅力のある場としての当院『くまそう』がアピールできたと思います。今年も病院際をはじめ多くの催しを企画し、地域の中核病院として情報発信を続けていきたいと思っています。

おそらく今年も混沌とした世界情勢、物価高など不安の尽きない社会情勢が続くと予想されます。しかし当院のすべきことは今年も変わりません。コロナ禍での教訓を糧に、また培ってきた地域医療機関との連携を駆使して地域住民の健康を守ること、ただ一点に邁進するのみです。そして我々職員が心身ともに健康であるために不可欠なのが、患者さん御家族の応援でもあります。地域の皆様、地域医療機関、関連機関の皆様におかれましては、今年も引き続き当院への温かい御支援、御指導、御協力を賜りますことを切にお願い申し上げます。

# 入職医師紹介



- 氏名 猪俣 純一郎
- 専門 循環器内科
- 出身大学 金沢大学
- 資格 日本循環器学会 専門医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本心血管インターベンション治療学会認定医  
日本禁煙学会認定指導医

## ○自己紹介・あいさつ

患者さんやスタッフの皆様に少しでも役立つように努力してまいります。



- 氏名 中谷 直喜
- 専門 臨床腫瘍科
- 出身大学 金沢医科大学
- 資格 がん薬物療法専門医

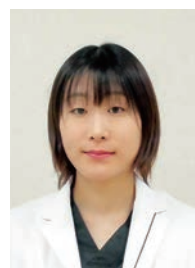
## ○自己紹介・あいさつ

各科の先生方と共にがん治療に携わっていきたいと考えています。宜しくお願い致します。



- 氏名 近藤 聡美
- 専門 小児科
- 出身大学 埼玉医科大学
- 自己紹介・あいさつ

丁寧な診療を心がけてがんばりますので  
よろしくお祈いします。



- 氏名 國安 夏希
- 専門 整形外科
- 出身大学 熊本大学
- 自己紹介・あいさつ

地域の医療に貢献できるよう頑張ります。  
よろしくお祈いいたします。



- 氏名 渡辺 仁美
- 専門 呼吸器内科
- 出身大学 埼玉医科大学
- 趣味 映画鑑賞
- 自己紹介・あいさつ

医師4年目の渡辺仁美と申します。埼玉医科大学国際医療センターで2年間の初期研修終了後は埼玉医科大学病院呼吸器内科で勤務しておりました。熊谷総合病院にて軽症例から重症例まで多くの経験を積んで成長できるよう精進してまいります。よろしくお祈い致します。



# 麻酔科



診療看護師 佐藤 真吾

## ● 麻酔とは

手術や医療処置を受ける患者さんに対し行われる「痛み刺激を与えても痛みを全く感じなくする方法」です。全身のどこに痛み刺激を与えても感じなくなるのが全身麻酔、身体の一部のみが痛み刺激を感じなくなるのが局所麻酔です。一般に手術を受ける場合は痛みだけでなく、クシャミや吃逆(しゃっくり)などの動きも抑える必要があります。そのため鎮静・鎮痛・不動(筋弛緩)の3つの要素を調整し安全な手術のサポートをしています。

## ● 全身麻酔の流れ

### ◆ 麻酔導入

はじめにたくさんの酸素を吸ってもらいます。十分に酸素を吸ってもらった後、点滴から眠くなる薬を注入します。これが鎮静です。脳に作用して強制的に深く眠ります。医療用麻薬も併用して痛みを取り除き、麻酔の処置を安全に行います。

また、手が動いたり、お腹に力が入って胃の中のものが逆流しないように筋弛緩薬を注入することで体は動かなくなります。麻酔薬には眠る作用もありますが、同時に自分で呼吸できなくなります。そこで気管挿管と呼ばれる気道確保を行います。喉頭鏡という器具を使って塩化ビニル製の小指くらいの太さの管を気管に入れます。そこから肺に空気を送って人工呼吸していきます。歯がボロボロだと管を入れる際に欠けてしまう恐れがあるので全身麻酔で手術を受けることが決まった際は、かかりつけの歯科を受診し、一度口腔内を診てもらおうと良いでしょう。



### ◆ 手術中

手術中は点滴や吸入薬で鎮静剤を持続的に使用し、手術の最中に目が覚めることがないようにします。また、痛みを感じないように医療用麻薬を使用して、執刀医が安全に手術できるようにサポートします。手術や麻酔薬の濃度によって血圧や脈なども乱れやすくなるので、脈を整えたり血圧を調整する薬も適宜使用していきます。



### ◆ 麻酔覚醒

手術が終わったら麻酔薬を止め、麻酔から目を覚まします。自分で息ができる事を確認出来たら、口の中の管を抜いて全身を観察します。(※タバコを吸っていると気管や肺の機能が低下し、管を抜くことが難しくなる場合があるため、手術前は4週間程度禁煙をお願いします)呼吸状態、血圧や脈拍に異常がなければベッドで病室に帰ります。



## ● 術後疼痛管理チーム

痛みについては、手術前に背中に細い管を入れ、手術した付近の神経に薬剤が作用して傷の痛みをとる方法と、点滴から持続的に痛み止めを入れる方法があります。どちらも患者さん自身が痛いときに薬を早送りできるようボタンが付いています。それでも痛い場合は、体の中で作用が異なる痛み止めを使い分けて多角的に介入し、苦痛がないように管理します。これによって術後の離床(リハビリ)を早く行い、筋力低下や手術の合併症予防を行うことができます。当院でも、術後の傷の痛みについてはプロである麻酔科が率先して管理し、チームで痛みのコントロールを行っています。



## ● 麻酔実績

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔(硬膜外麻酔併用も含む)	1,446	1,339	1,470	1,659	1,707
脊髄クモ膜下麻酔	8	19	14	31	23
合計	1,454	1,358	1,484	1,690	1,730

## ● 安全な麻酔のために

超高齢社会となり、患者さんの背景には高血圧や糖尿病などの既往が増えてきました。そのため、麻酔に使用する薬の量も注意する必要があります。医療というものは100%安全ではないので、手術前に様々な検査を行い、安全に麻酔をかけられるよう、私たち麻酔科は他の診療科と協力して個人の状態に応じた麻酔を提供しています。当院では常勤医2名に加え、診療看護師※が麻酔行為の一部を診療の補助として行うことで、医療の質を向上できるように努めています。

また、当院は熊谷市をはじめ、近隣の消防本部より救命士気管挿管実習の協力病院でもあります。令和5年10月30日に行われた「埼玉県自治体消防75周年記念式典」において「気管挿管の実習病院として救急救命士の育成に多大なる貢献をしたこと」に対して表彰を受けました。今後、患者さまのご協力をいただく場合もありますが、安全に努めてまいりますのでご検討いただきたい所存です。

## ● 麻酔科の仕事内容

- ・術前診察
- ・麻酔管理
- ・術後診察
- ・術後疼痛管理チーム活動
- ・院内緊急対応

## ● 麻酔科スタッフ

- ・中村
- ・寺山
- ・佐藤  
※大学院修士課程を  
修了した高度実践看護師



佐藤看護師 寺山先生 中村先生 副理事長



部署紹介 一看護部一

## 新館3階病棟 (N3)



診療科

外科

泌尿器科

病床数

42床

看護師数

37名



### 新3病棟

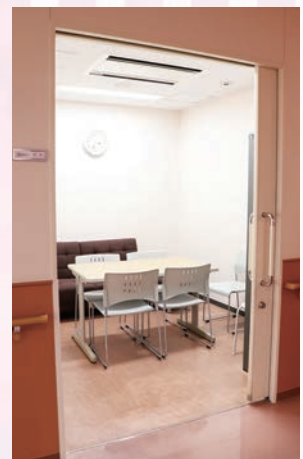
新館3階病棟は外科・泌尿器科で構成されている42床の混合病棟です。

外科・泌尿器科は

主に手術・がん化学療法・放射線治療・緩和医療の患者さんが入院されています。

手術件数も年々増加傾向で、術後の早期回復に向けて異常の早期発見・安全に入院生活を送れるよう援助を行っています。排泄経路や手術のため生じるボディーイメージの変化を余儀なくされる患者さんに対しては個別性に応じたケアの確立を患者さんと一緒に考えながら行っています。

また、あらゆる病期にある患者さんの療養生活が支援できるよう、入院時から情報収集を行い、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、医療ソーシャルワーカー、訪問看護の介入の他、さまざまな医療専門チームと連携し情報を共有しながら退院支援へと繋いでいます。



私たちは患者さんの退院後の生活を見据えご家族と一緒に考え導き出しながら、そして、信頼される関係性を築きながら安心・安全な看護の提供に尽力していきたいと思っています。



部署紹介 一看護部一

## 新館4階病棟 (N4)



診療科

内科  
婦人科

病床数

42床

看護師数

30名



### 新4病棟

当病棟は内科・婦人科の混合病棟です。病床数42床で 看護師、医師、看護補助者、看護補助者クラーク、リハビリ科、病棟薬剤師、病棟栄養士のチームで構成されています。

内科で入院される患者さんの疾患は、肺炎、胆管炎、尿路感染症、腎不全、呼吸不全等様々です。

患者さん一人一人が安心して入院し、治療に望めるようにコミュニケーションを大切にしています。近年超高齢化が進み内科の患者さんの年齢層は高くなってきました。認知症を持って入院される方や入院してから認知機能の低下をきたす患者さんもいます。ADL（日常生活自立度）を低下させないように、入院中の生活もメリハリをつけ、1日の時間を意識して関わっています。婦人科の疾患では、子宮筋腫や子宮脱、卵巣腫瘍など手術を目的とした患者さんが入院されます。手術が不安なく受けられ退院の運びとなるように、手術前のオリエンテーションは病棟・手術室と協力し、一連の経過をわかりやすく説明しています。手術後、患者さんの苦痛が最小限に抑えられるよう、疼痛管理を行い患者さんが安心して休むことができるよう術後ケアをさせていただきます。

### アピールポイント

当病棟は様々な疾患の患者さんが入院してきます。そのため、個別性のある看護を提供できるように、日々カンファレンスでの話し合いと情報共有を行い、チームで協力することを大切にしています。また超高齢化に伴い退院先の検討も患者さんにご家族の希望を尊重し信頼関係を築きながら丁寧に行えるよう努めています。可能な限り患者さんが望む生活に近づけるよう、医療ソーシャルワーカーやケアマネージャー、訪問看護、リハビリ、薬剤師、栄養士などの多職種と連携・協働するために情報共有しています。





# 認知症を予防する ための生活の一工夫



リハビリテーション科係長  
作業療法士

江原 佐知子

認知症は私たちの身近な病気の一つであり、関心も高く、認知症に関する話を耳にすると「自分も認知症になってしまうのだろうか?」と不安に感じることもあるかもしれません。認知症は生活習慣と深い関係にあり、適度な運動を生活の中に取り入れることや、バランスの取れた食生活を心がけて生活習慣病を予防することが、認知症の予防にもつながると言われています。また、家族や友人との交流を図り、積極的にコミュニケーションを取ることも大切とされています。今回、認知症予防に効果的と言われている、生活に取り入れられる一工夫をご紹介します。

## 認知症予防に有効な“二重課題”

“二重課題”とは簡単に説明すると、「〇〇をしながら△△をする」ということです。「ながら作業」とも呼ばれます。例えば、「電話しながらメモをとる」「料理をしながらテレビを観る」などです。日常生活の場面でも二重課題は様々な場面で自然に行われています。認知機能が低下すると、このような二重課題がしづらくなるとされています。普段の生活で、この二重課題を意識的に行うことで、脳が刺激され、脳機能の維持が期待できると言われています。

## 日常生活で出来る二重課題トレーニング方法の紹介

- ① 散歩をしながら会話をする、しりとりをする、簡単な計算をする
- ② 洗濯物を干しや掃除機がけなど家事をしながら歌を歌う

※散歩でなくても、椅子に座って足踏みしながらでもOKです。



- ③ 音楽を聴きながら本や新聞を読む
- ④ 歯磨きをしながら明日の予定を考える

無理のない範囲で続けていきましょう!





# 免疫 Up 食事療法



管理栄養士 新井 祐貴

旬の食材で  
免疫力アップ!  
栄養科

乾燥する季節になると気になるのは感染症、手洗いやうがいなどで菌やウィルスを入れないことが重要ですが、免疫力を上げて身体の中から感染症を予防することも大切です。今回は免疫力Upが期待できる食事療法をご紹介します。

## 乳酸菌



腸内環境が免疫力に深く関わってきていることが分かっている今日、乳酸菌やビフィズス菌は腸内環境を改善する効果が期待できるとされています。ヨーグルトやチーズ、キムチ等の発酵食品に多く含まれています。ちなみに納豆に添加されている枯草菌(納豆菌)は、乳酸菌やビフィズス菌を増やすことが分かっています。



## ビタミンC、ビタミンB群



ビタミンCは粘膜の保護や抗酸化作用のあるビタミンになります。乾燥すると喉の粘膜のバリア機能が低下するので、ビタミンCを補給して粘膜のバリア機能を正常に保ち、免疫力をUpしましょう。ビタミンCは果物、特に柑橘類やキウイに多く含まれています。ビタミンB群は、身体をつくる時に必要な酵素の原料となります。身体の代謝を促すビタミンなので、代謝を良くして免疫力をUpさせましょう。豚肉などに比較的多いビタミンです。



## たんぱく質



お肉やお魚、豆腐などに多く含まれるたんぱく質ですが、身体をつくるのに必ず必要な栄養素です。不足すると筋肉が細くなったり骨がもろくなったりします。免疫細胞もたんぱく質からできているため、毎食1品以上は食べるようにしましょう。



食事は一つの食品に偏ることなく、色々な食材を組み合わせさせて食べるようにしましょう。食事に合わせて適度な運動や、こまめな水分補給も忘れずにしましょう。

参考文献: 基礎から学ぶ生化学改訂第3版  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1988/97/7/97\\_7\\_515/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbrewsocjapan1988/97/7/97_7_515/_pdf/-char/ja)



前号に掲載しました、たがやクリニック 田ヶ谷 哲夫 先生のお名前を誤って掲載してしまい申し訳ありません。  
今後はこのようなことがないように努めて参ります。深くお詫び申し上げます。

熊谷総合病院 広報委員会

～くまそうの医療連携パートナーをご紹介します～

# まちの医療機関

No.022

## くまがやクリニック

TEL:048-523-0003

- 診療科 内科・透析外来(血液透析)
- 住所 熊谷市大原3-6-3
- 院長 安部 望 先生
- 駐車場 8台ほどあり
- 診療所の特色

くまがやクリニックは、くぼじまクリニックのサテライト施設として、人工透析を中心とした治療を行っております。

### ■院長先生のモットー・大切にされていること

患者様と医師及びスタッフとの信頼関係が最も重要であり、日ごろから互いに尊重し合い、みんなが思いやりの心を持ち、健康で豊かな社会が広がることを願っております。



	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	-
PM 14:00~16:30	●	●	●	●	●	-	-

### 透析外来

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~17:00	●	●	●	●	●	●	-

- 休診日:日曜日のみ(透析外来は祝日も実施しております。内科外来は休診となります。)

No.023

## 河田医院

TEL:048-532-6022

- 診療科 内科・神経内科
- 住所 熊谷市新堀新田503-1
- 院長 河田 政之 先生
- 駐車場 3台あり
- 診療所の特色

神経内科専門医として神経疾患(パーキンソン病、重症筋無力症、頭痛、振戦、CIDP)等を診療しています。

### ■院長先生のモットー・大切にされていること

高度で専門的な医療が必要な場合は適切な医療機関へ紹介します。



	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00~12:00	-	●	●	●	●	●	-
PM 14:30~18:00	-	●	●	●	●	-	-

- 休診日 月・土(午後)・日・祝

## 10/7 くまそうフェス2023・外科手技体験

十数年ぶりの病院祭を開催しました。地域の皆様、多くの方々にご参加いただきました。これからも地域の皆さまに親しまれる病院となるよう精進して参ります。



## 10/20 第1回 くまカフェ

リハビリテーション科主催による「くまカフェ」認知症の方やご家族、地域の方や専門職の方などが、参加・交流できる“集いの場”となりました。



## 11/14 R5年度 大規模災害訓練

今回は、震度6強の地震を想定し、ライフラインは寸断（自家発電作動）、断水は時間の問題。多数の傷病者が発生したシナリオ。熊谷市医師会と協力し、トリアージの訓練を行いました。



## 12/2.3.4 市民公開講座

協賛：株式会社リコー 後援：熊谷市  
場所：八木橋百貨店 8Fカトリアホール

脳神経外科医師、嶋原 良仁医師による「認知症3DAYS」を行いました。好評につき第二弾も開催！2/10（土）.11（日）.12（祝）

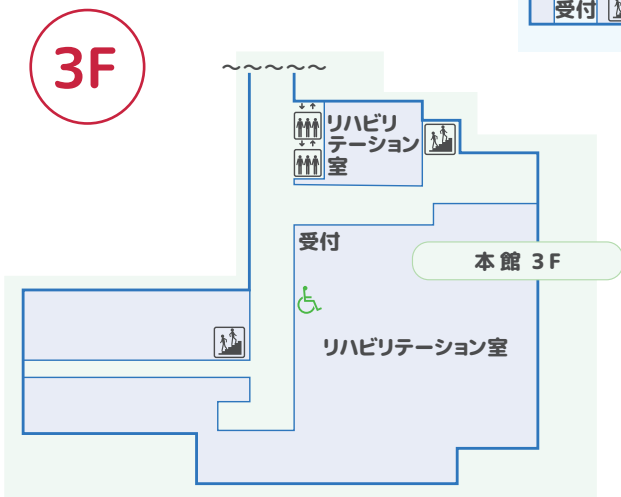
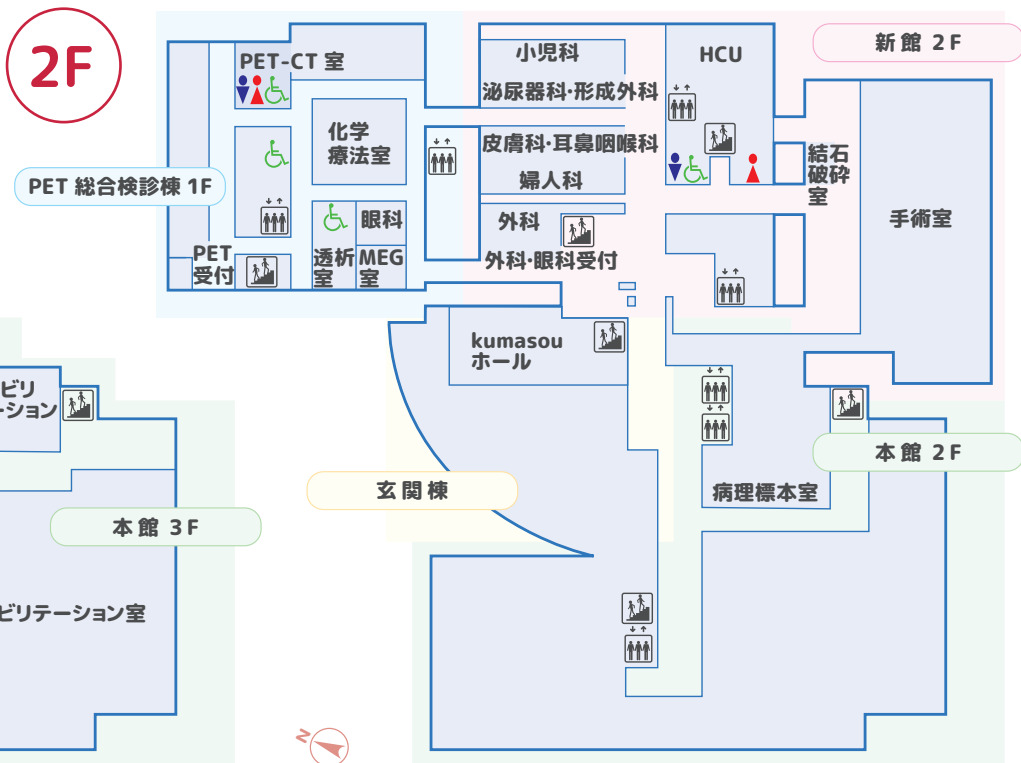
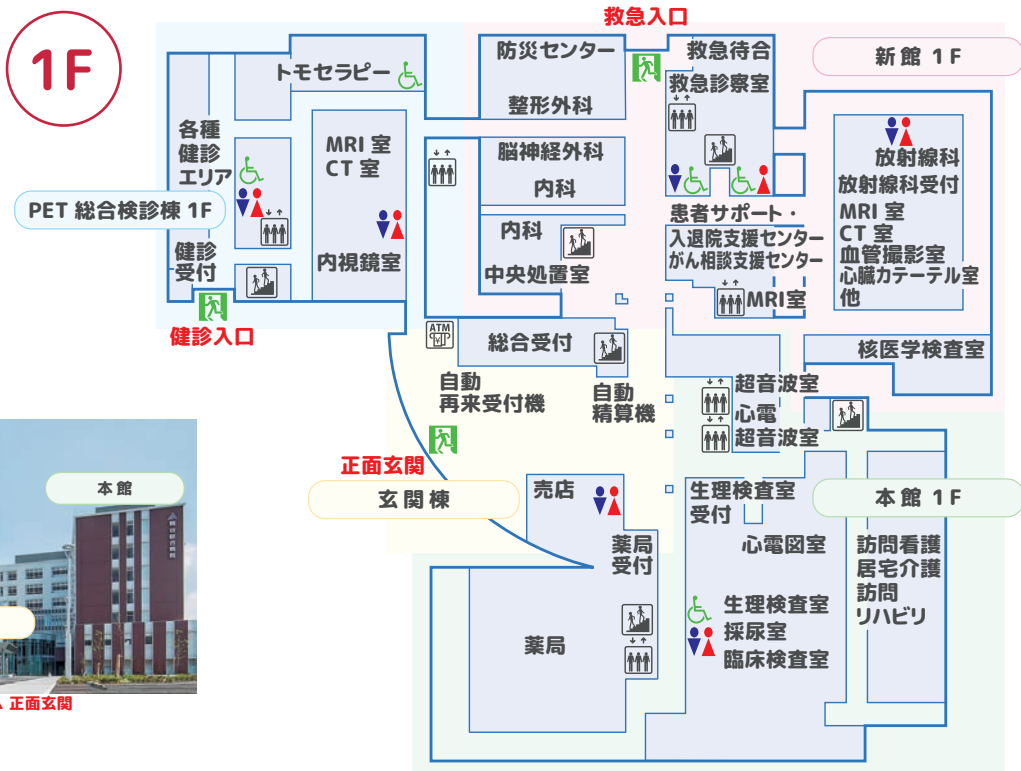


## 12/15 第2回 くまカフェ

今回はクリスマスリース作りをしました。みなさん指先を器用に使い、松ぼっくりを巻いて見事なリースの出来上がりです。



# くまそう 院内マップ 1F～3F



### 病院理念

- わたくしたちは、この地に歴史をきざむ熊谷総合病院に勤める医療人です。  
わたくしたちは、この地にふさわしい専門的視野と未来への展望に立って、ここに新生熊谷総合病院の病院理念を制定いたします。
- 一. わたくしたちは地域の一員として、すべての患者さんを心あたたかく迎え入れます。
  - 一. わたくしたちは地域の医療を常に高く保つため、みずから進んで学習します。
  - 一. わたくしたちは地域の未来をになう若き医療人の育成に励みます。
  - 一. わたくしたちは地域の必要に応える最新医療を提供し続けます。
- そしてわたくしたちは地域のあらゆる機関と協力して世界に誇れる病診連携をこの地、熊谷に築きあげます。



日本医療機能評価機構  
認定第JC2211号  
機能種別版評価項目  
(3rdG:Ver2.0 一般病院2)



〒360-8567 埼玉県熊谷市中西4-5-1  
TEL:0570-099-080(ナビダイヤル) FAX:048-523-5928(代)  
<https://www.kumasou.or.jp/>

